

今年度 事業名	防災訓練事業	事業コード 1266
来年度 事業名	防災訓練事業	

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創 造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	---------------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	防災危機管理課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市民や関係機関職員による総合防災訓練および水防訓練を実施し、災害時の初動体制を確立する。					
	概要	災害を想定し、市や消防組合および広域的な応援協力機関ならびに市民が一体となって、地区協議により協働訓練として、緊急避難や応急対策が迅速に行えるよう2地区を対象として防災訓練(総合防災訓練、水防訓練)を開催する。					
	コロナ対応 の取組	(今年度)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、水防訓練については規模を縮小して行った。鯖江市総合防災訓練については中止したが、感染症に対応した避難所運営訓練を各公民館対象に実施する。(来年度)三密を避け、ウイズコロナに対応するために、人数を絞ることや訓練規模を縮小するなど検討が必要。					
法令 根拠	災害対策基本法、水防法、土砂災害防止 法	実施 形態	現在	市直営 内 市民や関係機関による総合防災訓練および水防訓練を実施し、災害時の初動体制を確立する。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防災訓練の実施 (地区感染症対策防災訓練の実施回数)	回	目標値				1	1
		実績値					
水防訓練の実施	回	目標値				1	1
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防災訓練への参加者数	人	目標値				1000	250
		実績値					
計算 根拠	訓練に参加した市民、市職員、関係機関職員等の人数		達成率				
			実数値				

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防災訓練の実施	回	目標値	1	1	1		
		実績値	0	0	1		
水防訓練の実施	回	目標値	1	1	1		
		実績値	1	0	1		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防災訓練への参加者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000		
		実績値	-	-	1064		
計算 根拠	訓練に参加した市民、市職員、関係機関職員等の人数		達成率	-	-	106.4	
			実数値				

ランク	-	-	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	740	920	820	780
決算額	78	193	708	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	20	201	防災事務諸経費	34,091	780	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	780

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input type="radio"/> いいえ	<input checked="" type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 16 / 16

②事務改善 評価項目

効 率 性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
効 率 性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有 効 性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有 効 性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	令和2年度は、鯖江市西部地区(立待、吉川、豊)において、地区の防災協議会を中心とした防災訓練を実施する。
前年度の実績	片上、北中山、河和田地区において、防災訓練を実施した。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により訓練が中止となった為、比較ができなかった。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	来年度は福井県総合防災訓練を鯖江市西部地区(立待、吉川、豊)で予定している。
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	鯖江市職域防犯協会事業補助事業	事業コード 1276
来年度 事業名	鯖江市職域防犯協会事業補助事業	

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創 造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	---------------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	防災危機管理課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	行政や警察、関係機関と連携して防犯活動を行う団体の活動助成を通して、市民が安全で安心な暮らしができるまちづくりの推進を図る。				
	概要	①事業所における防犯活動の実施、②他の団体と連携したパトロールの実施、③防犯に関するチラシの作成および啓発				
	コロナ対応 の取組					
法令 根拠		実施 形態	現在	補助金等交付		
			内容	職域防犯協会に補助金を交付		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
活動回数	回	目標値					
		実績値					
計算 根拠	犯罪の抑止にはパトロールが必要であるため。	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
活動回数	回	目標値	17	12	12	12	12
		実績値	14	11	13		
計算 根拠	犯罪の抑止にはパトロールが必要であるため。	達成率	82.4	91.6	108.3		
		実数値					

ランク	B	B	A
-----	---	---	---

事業 要員	正規職員	0.002
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	90	90	90	90
決算額	90	90	90	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	20	602	各種団体等補助金	1,450	90	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	90

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	防犯活動を継続的に行っている団体に補助金を交付する。
来年度の実績	防犯活動を継続的に行っている団体に補助金を交付した。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	補助金交付申請を受け付け、検査検取を行い、支出するという事務のみであり、補助金以外は予算化されていない。課題は特に無し。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	特になし
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	鯖江地区防犯連絡所協議会事業補助事業	事業コード	1277
来年度事業名	鯖江地区防犯連絡所協議会事業補助事業		

総合戦略体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
--------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN(計画)	部署名	防災危機管理課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	行政や警察、関係機関と連携して防犯活動を行う団体の活動助成を通して、市民が安全で安心な暮らしができるまちづくりの推進を図る。				
	概要	①薬物乱用防止と防犯意識の高揚促進、②警察の活動への協力、③防犯パトロールの実施				
	コロナ対応の取組	(今年度)(来年度)				
法令根拠		実施形態	現在	補助金等交付		
			内容	鯖江地区防犯連絡所協議会に補助金を交付		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標
 コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
地域安全広報啓発活動等の諸事業活動	回	目標値					
		実績値					
計算根拠 市民の自主的な防犯活動を図るための広報・啓発活動であるため。		達成率					
		実数値					

通常期の指標							
活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
地域安全広報啓発活動等の諸事業活動	回	目標値	5	5	5	5	5
		実績値	5	6	5		
計算根拠 市民の自主的な防犯活動を図るための広報・啓発活動であるため。		達成率	100	120	100		
		実数値					
		ランク	A	A	A		

事業要員	正規職員	0.002	ランク B、Cの 理由
	臨時・嘱託		
	※所要時間	0	

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	180	180	180	180
決算額	180	180	180	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	20	602	各種団体等補助金	1,450	180	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	180

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	防犯活動を継続的に行っている団体に補助金を交付する。
来年度の実績	防犯活動を継続的に行っている団体に補助金を交付した。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	補助金交付申請を受け付け、検査検取を行い、支出するという事務のみであり、補助金以外は予算化されていない。課題は特に無し。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	特になし
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	暴力追放鯖江市民会議事業補助金	事業コード	1278
来年度事業名	暴力追放鯖江市民会議事業補助金		

総合戦略体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
--------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN(計画)	部署名	防災危機管理課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	行政や警察、関係機関が連携し防犯活動を行う暴力追放鯖江市民会議に補助金を交付することにより、市民が安全で安心な暮らしができるまちづくりの推進を図る。				
	概要	①暴力追放運動の推進、②暴力追放グッズの配布・啓発				
	コロナ対応の取組	(今年度)(来年度)				
法令根拠		実施形態	現在	補助金等交付		
			内容	暴力追放鯖江市民会議に補助金を交付		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防犯啓発回数	回	目標値					
		実績値					
計算根拠	暴力団によるあらゆる暴力行為を追放するための意識の高揚を行うため。	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防犯啓発回数	回	目標値	4	4	4	4	4
		実績値	4	4	4		
計算根拠	暴力団によるあらゆる暴力行為を追放するための意識の高揚を行うため。	達成率	100	100	100		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.002
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	200	200	200	200
決算額	200	200	200	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	20	602	各種団体等補助金	1,450	200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	200

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市民の暴力排除の意識高揚を図るとともに、暴力団による暴力を追放する活動に補助金を交付する。
前年度の実績	市民の暴力排除の意識高揚を図るとともに、暴力団による暴力を追放する活動に補助金を交付した。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 補助金交付申請を受け付け、検査検取を行い、支出するという事務のみであり、補助金以外は予算化されていない。課題は特に無し。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 特になし
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text" value="市民主役事業にかかる額(単位千円):"/>
来年度 事業名	<input type="text" value="市民主役事業にかかる額(単位千円):"/>

今年度事業名	鯖江警察署交番・駐在所連絡協議会鯖江市連合会事業補助事業	事業コード	1279
来年度事業名	鯖江警察署交番・駐在所連絡協議会鯖江市連合会事業補助事業		

総合戦略体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
--------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN(計画)	部署名	防災危機管理課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	行政や警察、関係機関と連携して防犯活動を行う団体の活動助成を通して、市民が安全で安心な暮らしができるまちづくりの推進を図る。					
	概要	①市内の交番や駐在所の防犯活動協力、②夜間ライトアップ作戦を推進し、夜間パトロールの実施、③防犯パトロールの実施					
	コロナ対応の取組	(今年度)(来年度)					
法令根拠		実施形態	現在	補助金等交付			
			内容	交番駐在所連絡協議会連合会に補助金を交付			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
連絡会の開催	回	目標値					
		実績値					
計算根拠	交番駐在所連絡協議会連合会は市民と警察、交番および駐在所の連絡体制を確立させることを目的としているため。	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
連絡会の開催	回	目標値	5	5	5	5	5
		実績値	5	5	6		
計算根拠	交番駐在所連絡協議会連合会は市民と警察、交番および駐在所の連絡体制を確立させることを目的としているため。	達成率	100	100	120		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.002
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランクB、Cの理由	
-----------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	180	180	180	180
決算額	180	180	180	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	20	602	各種団体等補助金	1,450	180	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	180

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
効率性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	交番駐在所連絡協議会相互の連携を図り、犯罪の予防を図り、市民の安全を守ることに対し補助金を交付する。
前年度の実績	交番駐在所連絡協議会相互の連携を図り、犯罪の予防を図り、市民の安全を守ることに対し補助金を交付した。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 補助金交付申請を受け付け、検査検取を行い、支出するという事務のみであり、補助金以外は予算化されていない。課題は特に無し。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 特になし
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	防犯隊活動事業	事業コード 1281
来年度 事業名	防犯隊活動事業	

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創 造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	---------------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	防災危機管理課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	行政や警察、関係機関と連携して防犯活動を行う防犯隊が、自分たちの町は自分たちで守るという考えから、市民が安全で安心な暮らしができるまちづくりの推進を図る。				
	概要	青色回転灯車両による防犯パトロールや防犯啓発活動・行方不明者の捜索および県防犯隊連合会研修会への参加等による隊員規律保持を行う。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していたため、幹部会や出発式等を中止した。(来年度)R2年度と同様に感染が拡大していれば、幹部会等を中止する。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容	防犯隊の専任化による活動や運営事務を行う。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防犯隊の活動広報	回	目標値				1	1
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防犯隊員の充足率(条例定数170人)	%	目標値				100	100
		実績値					
計算 根拠	犯罪の抑止には防犯パトロールが有効であり、防犯パトロールを継続するには人手が必要であるため。	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防犯隊の活動広報	回	目標値	1	1	1		
		実績値	1	1	1		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防犯隊員の充足率(条例定数170人)	%	目標値	100	100	100		
		実績値	93.5	94.1	94.7		
計算 根拠	犯罪の抑止には防犯パトロールが有効であり、防犯パトロールを継続するには人手が必要であるため。	達成率	93.5	94.1	94.7		
		実数値	159/170	160/170	161/170		

ランク B B B

事業 要員	正規職員	0.01
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク
B、Cの
理由
市広報等において防犯隊活動事例を紹介しているが、加入に繋がらなかったため。

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	3,498	3,484	4,353	3,928
決算額	2,909	3,196	2,947	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	20	202	防犯事務諸経費	4,668	3,928	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,928

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	安全で安心なまちづくりの活動を推進するために、防犯隊員を増加する必要があり、市広報での防犯隊活動事例紹介とともに加入促進を行うことと合わせ、現役防犯隊員による地域での勧誘活動を充実させる。
前年度の実績	安全で安心なまちづくりの活動を推進するために、防犯隊員を増加する必要があり、市広報での防犯隊活動事例紹介とともに加入促進を行った。また現役防犯隊員による地域での勧誘活動を充実させた。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 条例で定められている人数170名に達していないことが課題としてあげられる。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 市広報での防犯隊活動事例紹介ページの見直しを行う。現役防犯隊員による勧誘活動を強化する。
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民主役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民主役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	自主防災組織活動支援事業	事業コード 2531
来年度 事業名	自主防災組織活動支援事業	

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創 造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	---------------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	防災危機管理課		開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	町内会自主防災組織を通じて、日頃から市民の防災に対する意識向上を図るとともに、町内における自主防災体制の充実・活性化を図る。					
	概要	自主防災組織未結成町内会に組織の結成を促し、既に結成されている町内会に対しては市民の意識向上および自主防災組織の活性化を図るために、同組織が行う防災組織の運営及び活動に必要な資機材の整備、マップ作成等の支援を行い、地域における自主防災体制を確立する。					
	コロナ対応 の取組	(今年度)新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、町内で開催する防災訓練の自粛を要請した。また補助対象物品に「新型コロナウイルス対策に関する物品」を加えた。(来年度)R2年度と同様に新型コロナウイルス感染症の感染が再び拡大すれば、防災訓練の自粛を要請する。					
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営			
			内容	自主防災組織の活性化を図るため、防災訓練および資機材整備のための支援を行っている。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防災出前講座の回数	回	目標値				50	50
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
自主的な防災活動の実施率	%	目標値				70	70
		実績値					
計算 根拠	出前講座等の自主的な防災活動を実施している自主防災組織数/鯖江市の自主防災組織数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防災出前講座の回数	回	目標値	50	50	50		
		実績値	111	111	86		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
自主的な防災活動の実施率	%	目標値	60	70	70		
		実績値	70.6	72.5	73.2		
計算 根拠	出前講座等の自主的な防災活動を実施している自主防災組織数/鯖江市の自主防災組織数	達成率	117.7	103.6	104.5		
		実数値	108/153	111/153	112/153		

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	2,750	2,200	2,600	2,260
決算額	2,750	2,132	964	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	20	604	自主防災組織活動支援事業費	2,260	2,260	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,260

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
有効性 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒

取組内容
自助・共助・協働を念頭に、自主防災組織の活動を支援し、地域防災力の向上を図る。これまでの町内での防災資機材購入と町内防災訓練の補助金を一本化する。また、地区の防災協議会設立に向けた活動の推進を図る。

来年度の実績
防災訓練等補助金を27件、自主防災組織支援事業補助金を12件交付し地域防災力の向上を図った。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
補助金交付の手続きを誤ったために、補助金交付に至らなかった自主防災組織があった。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
補助金交付の手続きをよりわかりやすく伝えるため、チラシを一新し交付に繋げる。

方向性⇒

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

来年度 事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	防災リーダー養成講座事業	事業コード 2852
来年度 事業名	防災リーダー養成講座事業	

総合戦略 体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創 造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	---------------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	防災危機管理課		開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	防災リーダーを養成することにより地域や町内の防災体制の確立および減災知識の周知を図り、災害や防災に関する知識を習得するための防災リーダー養成講座を開講する。					
	概要	各町内で防災活動に意欲のある者を対象に地域防災リーダー養成講座を開催し、修了者に受講修了証を交付する。町内では防災リーダー養成講座を修了された人を自主防災組織の中で防災班として位置付け、町内防災訓練時にリーダーとして活動している。また、専門家による防災講話等で得た知識を町民に周知し、減災に繋げる取組みを行っている。さらに、修了者のうち意欲のある人は防災リーダー交流会に入会し、町内に対し減災活動を行っている。					
	コロナ対応 の取組	(今年度)新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していたため、前期の養成講座を中止した。(来年度)3密を回避するため、受講者を減らして開催する。					
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(全部)			
			内	災害や防災に関する知識を習得するための講座(普通救命講習含む)を開設。(年2回実施。1回あたり15名募集、日程は延べ3日間)			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
養成講座の開催		回	目標値				1	2
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防災リーダー新規養成者数		人	目標値				15	30
			実績値					
計算 根拠	養成講座の受講者を「鯖江市防災リーダー」と認定し、受講修了証を交付する。		達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
養成講座の開催(前期と後期の2回)		回	目標値	2	2	2		
			実績値	2	2	2		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防災リーダー養成数		人	目標値	339	375	409		
			実績値	345	379	409		
計算 根拠	養成講座の受講者を「鯖江市防災リーダー」と認定し、受講修了証を交付する。		達成率	101.8	101.0	100		
			実数値					
防災リーダー新規養成者数		人	目標値					
			実績値					
計算 根拠	養成講座の受講者を「鯖江市防災リーダー」と認定し、受講修了証を交付する。		達成率					
			実数値					

			ランク	A	A	A
事業 要員	正規職員	0.15	ランク B、Cの 理由			
	臨時・嘱託					
	※所要時間	0				

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	380	318	315	315
決算額	380	318	315	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	2	1	20	201	防災事務諸経費	34,091	315	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	315

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ○ ある ● ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 ○ ある ● ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 ○ ある ● ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 ○ ある ● ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒	維持
	取組内容	地域の防災活動に貢献できる防災リーダーを養成するために講座を年2回開催する。
来年度へ向けて	前年度の実績	前期、後期あわせて30名の受講があった。
	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前期の開催を中止した。感染症の影響があるなか、どのように防災リーダーを養成していくかが課題となる。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点		養成講座の座学については受講者同士の間隔をあける、リモートで行うなどの感染防止対策を行う。実習についても一度に受講する人数を減らし時間をずらすなどの感染防止対策を行う。
方向性⇒		維持

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	未実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	防災リーダー養成講座事業
市民役事業にかかる額(単位千円):	315
来年 事業名	防災リーダー養成講座事業
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度事業名	防犯隊活動助成事業	事業コード 3164
来年度事業名	防犯隊活動助成事業	

総合戦略体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
--------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN(計画)	部署名	防災危機管理課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	防犯隊の防犯活動を充実させることにより、犯罪の未然防止を図り、地域の安全安心を確保する。				
	概要	防犯隊の各地区支隊が、各地区において地域の実情に合わせ独自に行う防犯活動に対し助成を行う。				
	コロナ対応の取組	(今年度)新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していたため、幹部会や出発式等を中止した。(来年度)R2年度と同様に感染が拡大していれば、幹部会等を中止する。				
法令根拠		実施形態	現在	補助金等交付		
			内容	防犯隊の各地区支隊が行う防犯活動に対し助成を行う。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防犯隊支隊長以上の幹部会の実施	回	目標値				3	3
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防犯隊地区支隊の独自活動の平均値	回	目標値				1	1
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防犯隊支隊長以上の幹部会の実施	回	目標値	5	5	5		
		実績値	6	6	6		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防犯隊地区支隊の独自活動の平均値	回	目標値	3	3	2		
		実績値	4	4	4		
計算根拠		達成率	133.3	133.3	133.3		
		実数値					

ランク A A A

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	600	600	600	600
決算額	600	600	600	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	2	1	20	602	各種団体等補助金	1,450	600	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	600

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	地域の防犯隊の積極的な活動を推進し、防犯体制の強化を図り、市民の安全安心に努める。
前年度の実績	地域の防犯隊の積極的な活動を推進し、防犯体制の強化を図り、市民の安全安心に努めた。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、幹部会や出発式等を中止している。感染症の影響があるなか、どのように防犯隊活動を継続していくかが課題となる。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 ウィズコロナにおいても地域の防犯体制の強化は変わらず重要であるため、幹部会等は書面決議やリモート会議での開催を検討し、防犯隊活動を継続していく。また、青色回転灯パトロールについては車内が密にならないよう、少人数もしくは単身で行う。
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text" value=""/>
度	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value=""/>
来年 事業名	<input type="text" value=""/>
度	市民主役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value=""/>

今年度事業名	防災士ネットワークさばえ防災教育活動事業	事業コード	3247
来年度事業名	防災士ネットワークさばえ防災教育活動事業		

総合戦略体系	431	安心で快適に暮らせるまちの創造	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
--------	-----	-----------------	-------------	------------

PLAN (計画)	部署名	防災危機管理課	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	災害時の被害を最小限に留める地域防災力の担い手が「防災士」です。鯖江市内の防災士を対象に、更なる防災水準の向上を目指した研修会を開催し、地域防災力の引き上げに繋げる。				
	概要	地域の防災リーダーとして、減災・防災の知識や技能を磨き、市民に対して日頃から災害教訓を伝え、防災訓練はもとより、市民の防災意識啓発についてもリーダーシップを発揮してもらい、地域に則した自助・共助の仕組みを展開していく。特に、防育(防災教育事業)を主眼において、子供、高齢者等の防災出前講座や啓発を重点として活動する。				
	コロナ対応の取組	(今年度)3密を避けるため、防災教育活動の出前講座および講習会を中止した。代替として防災グッズ(非常持ち出し袋)を作成し、各小学校に展示し防災についての啓発活動を行った。(来年度)感染防止対策にも対応した新しい防災教育活動について検討する必要がある。				
法令根拠		実施形態	現在	民間等委託(一部)		
			内	地域の防災リーダーとして、地域に則した自助・共助・協働の仕組みを展開する。特に、防育(防災教育事業)を主眼において、子供、高齢者等の防災出前講座や啓発を行う。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
理事会の実施回数		回	目標値				12	12
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防災教育事業の開催		回	目標値				20	10
			実績値					
計算根拠			達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
理事会の実施回数		回	目標値	12	12	12		
			実績値	12	12	12		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
防災教育事業の開催		回	目標値	20	20	20		
			実績値	24	24	29		
計算根拠			達成率	120	120	145		
			実数値					

ランク A A A

事業要員	正規職員	0.17
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO
(実施)

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	1,087	1,087	1,087	887
決算額	1,087	1,087	1,087	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R2年度事業名		予算書額	うち事業額(千円)
1	2	1	20	201	防災事務諸経費		34,091	887
2								
3								
4								
5以降								
							合計	887

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 有効性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 16 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒	維持
	取組内容	減災・防災の知識や技能をさらに身に着けるとともに、防災教育事業を実施し、子供、高齢者等の防災出前講座や啓発を重点として活動する。また、提案型市民主役事業に提案される地区または小中学校への防災教育事業の担い手となり、防災意識の普及・啓発を図る。
来年度へ向けて	前年度の実績	小中学校や地区を対象に防災の出前講座を22回実施し、防災の啓発活動を行った。また、小中学校への防災教育事業の担い手となり、防災意識の普及・啓発を図った。
	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	3密を避ける防災教育活動を考えると、今までとは違った内容を検討する必要がある。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点		特になし
方向性⇒		維持

【提案型市民主役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	こども防災チャレンジ親子講座・小中学校防災出前講座、地区防災組織研修、自主防災組織研修 市民主役事業にかかる額(単位千円): 500,000
来年 事業名	こども防災チャレンジ親子講座・小中学校防災出前講座、地区防災組織研修、自主防災組織研修 市民主役事業にかかる額(単位千円):